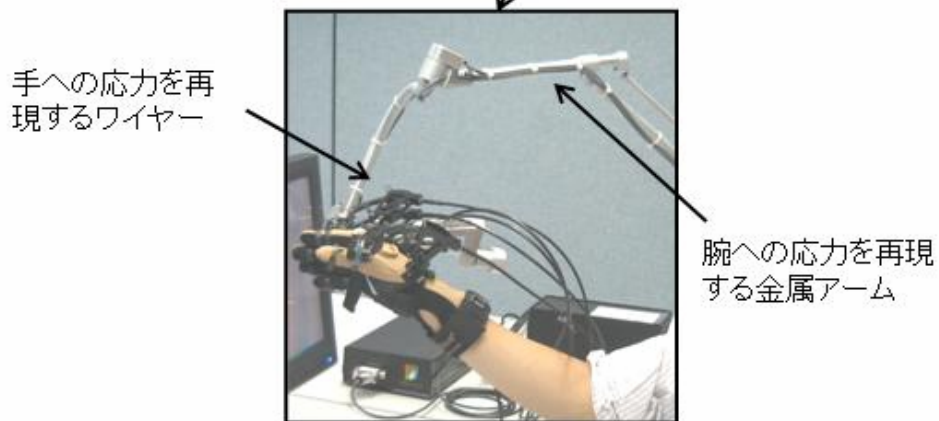


◆参考資料

【Tangible-3D 技術を握手体験に適用した例】

- ①カメラ2台を使って発信側の手を撮影
- ②映像処理により、3D映像合成および触感情報抽出を行い、リアルタイムに配信
- ③配信された"発信側の手"の3D映像を3Dディスプレイに表示
- ④同時に配信された"発信側の手"の触感情報を触感デバイスで再現
- ⑤3D映像と触感情報の同時知覚により、受信側は擬似的に握手を体験可能



実証実験で使した触感デバイス